

## 令和8年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和8年3月2日

質問者（質問順）

1 高田修平 委員（立憲党）

2 柏原すぐる 委員（維新会）

3 熊本ちひろ 委員（国民主）

4 古谷靖彦 委員（共産党）

5 白井亮次 委員（自民党）

6 鴨志田啓介 委員（自民党）

7 市来栄美子 委員（公明党）

8 長谷川えつこ 委員（長谷川）

健康福祉局

## 局 別 審 査

1 高 田 修 平 委 員 (立 憲 党)
-----------------------

### 1 フレイル対策と社会参加について

- (1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の狙いについて伺いたい。
- (2) 高齢者社会参加ポイント事業の効果検証について伺いたい。

### 2 介護人材の確保等について

- (1) 介護のしごと魅力発信サイトの開設の狙いと掲載コンテンツについて伺いたい。
- (2) 外国人介護人材確保に向けた令和8年度の取組について伺いたい。
- (3) 介護事業者向けハラスメント対策の今後の取組について伺いたい。
- (要望) 確保した介護人材が介護現場に根付き、安心して職務を続けられるよう、しっかりと取り組んでいただきたい。

### 3 地域ケアプラザについて

- (1) 地域ケアプラザを高齢者以外の世代も利用しやすい施設に近づけていくべきではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 高齢者以外にとっても身近な地域ケアプラザとなるよう、取組を進める場合の課題について伺いたい。
- (3) 今後も、地域ケアプラザが人と人をつなぎ、支え合いの輪が広がる仕組みづくりを進めるべきではないかと考えるが、見解を伺いたい。

#### 4 生活困窮者自立支援事業について

- (1) 生活困窮者自立支援事業における住まいの相談支援機能の強化について伺いたい。
- (2) 住宅確保要配慮者の受入れが広がるよう、賃貸住宅の貸主等の理解を深める取組を進めるべきではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 建築局と連携して、住まいに不安を抱える方々が安心して暮らせるよう、居住支援の様々な取組を着実に推進していただきたい。

#### 5 ひきこもり総合支援・若者相談センターについて

- (1) 相談支援の内容について伺いたい。
- (2) 地域の相談機関の支援力向上の取組について伺いたい。
- (3) ひきこもりへの理解を促進するべきではないかと考えるが、見解を伺いたい。

#### 6 不正受給への対応について

- (1) 過去5年間に健康福祉局で発生した不正受給の件数、金額と内訳について伺いたい。
- (2) 不正受給の主な内訳と、不正受給が起きていることの受け止めについて伺いたい。
- (3) 不正受給を防ぐための健康福祉局としての取組について伺いたい。
- (要望) 関係局で連携を進め、より効果的な対策をしっかりと実施していただきたい。

## 2 柏原 すぐる 委員（維新会）

### 1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

#### （1）「医療専門職による個別的支援（ハマプロ）」の効果測定について

ア 効果測定の具体的な手法を伺いたい。

イ 参加者の状況を把握するため、アンケートを記載するのか伺いたい。

ウ 健診データ、医療レセプト、要介護認定情報などのデータは対象者の抽出だけに使うという認識で正しいか伺いたい。

エ 医療・介護データを活用した効果測定を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

オ 適切な期間を設定して効果測定し、事業を効果的に進めるべきだと考えるが、見解を伺いたい。

（2）要介護度等の改善に寄与した介護事業所の取組が、報われる制度導入の可能性について検討すべきだと考えるが、見解を伺いたい。

### 2 敬老パスについて

（1）バス事業者負担金単価の見直しのプロセスと根拠について伺いたい。

（2）バス事業者負担金単価を先行して見直した理由について伺いたい。

（3）バス事業者負担金単価以外の制度改革に関しても同時に議論しているか、伺いたい。

（4）敬老パス見直しに向けた検討の工程表を示すべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）制度見直しに向けた工程表を示していただきたい。

（5）多数回利用への対応について伺いたい。

（6）介護予防効果の具体的な分析設計について伺いたい。

（要望）精緻な分析に時間をかけるにも限りがある。早期判断が将来の利益につながることも踏えて検討をしていただきたい。

### 3 介護人材の確保について

- (1) 人材確保に向けた本市のこれまでの取組に対する課題認識について伺いたい。
- (2) 令和8年度における介護人材確保の取組と拡充施策について伺いたい。
- (3) 民間の有償ボランティアマッチングサービスの活用可能性について伺いたい。

### 3 熊本 ちひろ 委員（国民主）

#### 1 障害者のガイドヘルプについて

- （１）重度障害者に対するガイドヘルプの通学通所支援について、事業者への報酬単価を引き上げるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （２）障害のある方やガイドヘルパーへの理解を広げる取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）ガイドヘルパーの理解促進や利用者と支援者のマッチングのための取組について、検討していただきたい。

#### 2 障害のある方の夕方の支援について

- （１）日中一時支援制度の充実に向けた取組を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい
- （要望）制度の充実と地域の中で共に生きるインクルーシブなまちづくりを進めていただきたい。

#### 3 骨粗しょう症予防について

- （１）本市で骨粗しょう症予防に取り組む背景について伺いたい。
- （２）事業所向け出張型骨密度測定会の実施内容及び実績について伺いたい。
- （３）骨粗しょう症に関する今後の取組の方向性について伺いたい。
- （要望）若い世代から予防に取り組めるよう、生活習慣の改善につながる取組を一層進めていただきたい。

#### 4 古谷靖彦委員（共産党）

##### 1 虐待を生まない障害者グループホームの指導体制について

- (1) 本市の障害者グループホーム数と虐待等通報件数の推移に関する受け止めについて伺いたい。
  - (2) 障害者グループホームの新規事業所が増えていく中での課題について伺いたい。
  - (3) 本市の障害者グループホームの虐待通報件数が令和4年度に上がっている理由について伺いたい。
  - (4) 虐待の通報件数も増えている中、障害者グループホームの事業所に対し、本来国の通知で示されている運営指導の箇所数を達成できていない理由について伺いたい。
  - (5) 3年に1度の運営指導が必要な箇所数を達成できていない状況の受け止めについて伺いたい。
  - (6) 障害者グループホームの事業所に対し、国の通知で定められている運営指導が実施できるよう、職員体制の拡充を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 国の通知で定められている運営指導が実施できていない状況をどうするのか、しっかり全市的に検討していただきたい。

##### 2 重度化対応障害者グループホームについて

- (1) 重度化対応障害者グループホームのモデル事業の実施により得られた課題について伺いたい。
- (2) 重度化対応障害者グループホームの今後の方向性について伺いたい。

### 3 障害者就労支援センターについて

- (1) 民間企業を含め、障害者の法定雇用率が引き上げられている中で、本市の就労支援センターが果たすべき役割について伺いたい。
  - (2) 市内の特例子会社の設置状況について伺いたい。
  - (3) 特例子会社の方々と意見交換をする場があるのか伺いたい。
  - (4) 就労支援センターと特例子会社が意見交換する場づくりをお願いしたい。また、進んでいない計画相談の業務を就労支援センターで行えるようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 就労支援センターの体制を強化した上で、就労支援センターで計画相談が行えるようにしていただきたい。

5 白井亮次委員（自民党）

1 子どもの睡眠不足による影響について

- （１）子どもの睡眠に関する現状認識について伺いたい。
  - （２）子どもの睡眠不足の原因をどう捉えているか伺いたい。
  - （３）睡眠の重要性について、広く市民に周知・啓発していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）関係局が連携しながら一層ギアを上げ、全世代の睡眠の重要性の普及啓発を進めていただきたい。

2 若年性認知症の方への支援について

- （１）相談状況について伺いたい。
- （２）今後の進め方について伺いたい。

3 通所介護施設における認知症ケアについて

- （１）認知症対応型通所介護事業所で働く職員を対象とした取組について伺いたい。
- （２）好事例の他の事業所への展開について伺いたい。

4 デフリンピックを契機とした手話施策の推進について

- （１）デフリンピックに関する市民への普及・啓発が不十分と考えるが、見解を伺いたい。
- （２）市民が手話の体験や学ぶ機会を拡充していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 介護人材の確保について

- （１）介護人材不足に対する現状認識について伺いたい。
- （２）ハローワークの機能強化を求める、介護現場からの声に対する受け止めについて伺いたい。

(3) 介護人材の確保に向けた今後の取組について伺いたい。

6 DXを活用した介護予防について

(1) 直近3年間の介護給付費の推移について伺いたい。

(2) 横浜市の介護予防の取組について伺いたい。

(3) DXを活用した介護予防を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 地域の見守りや共助を進めるためのDXの推進について

(1) 地域の見守りや共助を進めるためには、DXの推進が重要と考えるが、見解を伺いたい。

8 身寄りのない高齢者等への支援について

(1) 令和8年度の具体的な取組について伺いたい。

(2) 次期中期計画の期間を通じた方向性について伺いたい。

(要望) 高齢者の皆様の安心確保にとって非常に重要な分野のため、ぜひ、全国に先駆けた本市ならではの取組を進めていただきたい。

9 高齢者の買い物に関する課題と対応について

(1) 高齢者の買い物に関する困り事についての現状認識について伺いたい。

(2) 高齢者の買い物に関する課題の解決に向けた令和8年度の取組について伺いたい。

10 個別避難計画について

(1) これまでの作成状況について伺いたい。

(2) 震災を想定した個別避難計画を効率的に作成すべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 高齢者の活躍について

- （１）高齢者の社会参加の現状認識について伺いたい。
  - （２）シニアボランティアの活動者数や活動場所を増やすための取組について伺いたい。
  - （３）企業や地域団体、NPO法人などとの連携強化について伺いたい。
  - （４）高齢者が幅広い分野で活躍できる環境づくりを進めるためにも、関係局の連携が重要だと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）高齢者の皆様が生きがいを持ち、大いに活躍していただけるよう取組を進めていただきたい。

2 市営斎場の通信環境について

- （１）斎場や斎場内のエリアごとに通信環境に差がある理由について伺いたい。
  - （２）通信環境の課題についての認識について伺いたい。
  - （３）通信環境整備として、携帯電波の改善に加え、市営斎場に公衆Wi-Fi環境を整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）携帯電波の改善に加え、Wi-Fi環境についても前向きに検討を進め、多くの方が安心して施設を利用できる環境整備を早期に実現していただきたい。

3 バリアフリーのまちづくりについて

- （１）より高い水準のバリアフリーの基準整備に向けた今後の取組について伺いたい。
  - （２）まちづくりや基準整備の際は、特定の意見に偏ることなく、様々な立場にある市民の声を公平に受け止めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （意見）中山駅再開発事業とは切り離しても、現時点で可能なバリアフリー整備を進めることを都

市整備局へ提案していただきたい。

#### 4 高齢者の筋力トレーニングの重要性について

- (1) 高齢者にとって筋力トレーニングは重要であると考え、見解を伺いたい。
- (2) スポーツジムの利用料を補助するなど、より多くの高齢者が筋力トレーニングに取り組めるよう、総合的に支援を行うべきと考え、見解を伺いたい。
- (意見) 公会堂などでトレーナーを招いて高齢者向けに行うなど、取組を検討していただきたい。

#### 5 オンラインギャンブルの依存症対策について

- (1) オンラインギャンブルの依存症の特徴について伺いたい。
- (2) 依存症の本人や家族が支援機関につながりやすくするための取組について伺いたい。
- (3) オンラインギャンブルの依存症対策にも力を入れて取り組むべきと考え、見解を伺いたい。
- (要望) オンラインギャンブルの依存症対策について、更なる充実をしていただきたい。

#### 6 障害者グループホームについて

- (1) 重度障害者を受け入れる場合の課題について伺いたい。
- (2) 少人数グループホームの特徴について伺いたい。
- (3) 今後の障害者グループホームの設置の考え方について伺いたい。
- (要望) 障害者グループホームを利用しやすい環境を充実させていただきたい。

#### 7 小児慢性特定疾病について

- (1) 子どもの自立支援のために進めている取組について伺いたい。
- (2) 病気の理解を深める取組に込めた思いについて伺いたい。

(意見) 全ての子どもが、一人ひとりの自分らしさを発揮しながら成長していけるよう、社会全体で支えていくため、これからの取組に期待したい。

## 8 睡眠の重要性について

(1) 働く世代にとって睡眠は極めて重要であると考えているが、見解を伺いたい。

(2) 睡眠習慣の改善にICTを活用していくべきと考えているが、見解を伺いたい。

(意見) 健康データの収集と分析に積極的に取り組んでいただきたい。

## 7 市 来 栄美子 委員（公明党）

### 1 女性の健康づくりについて

- （１）女性の健康寿命が短縮している要因の分析について伺いたい。
  - （２）職場における実態調査の進め方について伺いたい。
  - （３）働き・子育て世代の女性の健康課題の解決に向けての、今後の取組の方向性について伺いたい。
- （要望）全ての世代の女性が自分らしく、いきいきと活躍できるよう効果的な取組を推進していただきたい。

### 2 ひとり親家庭等医療費助成事業について

- （１）パマトコを使ったひとり親家庭等医療費助成事業の手続きを拡大すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）パマトコの活用は、利用者が直感的にわかりやすいものとなるよう工夫をお願いしたい。
- （要望）ひとり親家庭を取り残さないよう関係局が一層連携するとともに、子育て家庭の負担軽減と利便性向上に努めていただきたい。

### 3 ひきこもり総合支援・若者相談センターについて

- （１）新センターではひきこもり支援の対象者を広く捉えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - （２）新センターが目指すひきこもり支援のあり方について伺いたい。
- （要望）ひきこもり総合支援・若者相談センターの設置を契機として、ひきこもり支援の更なる充実をお願いしたい。

#### 4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

(1) 参加した方々から寄せられている声や反応について伺いたい。

(2) 成果に対する受け止めについて伺いたい。

(3) 実績を踏まえた全区展開に向けての意気込みについて伺いたい。

(要望) フレイルに関する事業は高齢者にとって医療からの勧奨が非常に効果的であるため、今後はより一層、医療機関と連携を深めながら効果的な周知をお願いしたい。

#### 5 ヨコハマあんしん登録等終活支援について

(1) 登録者を増やすための取組について伺いたい。

(2) あんしん終活相談センターの対応状況について伺いたい。

(要望) 今後も市民に寄り添った終活支援事業が展開されることをお願いしたい。

#### 6 介護ロボットやICT機器等の導入支援について

(1) 介護ロボットやICT機器等の導入を支援する狙いについて伺いたい。

(2) 介護ロボットやICT機器等の導入に対する補助実績について伺いたい。

(3) 介護ロボット等導入支援事業を拡充すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後も介護ロボットやICT機器等の導入支援をしっかりと行ってほしい。

(要望) 車椅子等の福祉用具についても支援の対象にすることも検討してほしい。

#### 7 よこはまウォーキングポイント事業について

(1) アプリの登録者数について伺いたい。

(2) アプリに対して寄せられているご意見について伺いたい。

(3) リニューアルしたアプリの活用について伺いたい。

(意見) 新規利用者等に対し、インセンティブを効果的に活用した働きかけの強化が重要である。

(要望) 貯めたポイントを民間ポイントに交換できる他都市事例も参考に、新規利用者等に対してはインセンティブを活用した働きかけを行い、市民の健康習慣の定着につながる制度設計を引き続き検討いただきたい。

#### 8 高齢者のポイント事業について

(1) 高齢者社会参加ポイント事業の周知方法について伺いたい。

(2) アプリの操作支援について伺いたい。

(要望) ウォーキングポイント、社会参加ポイント、よこはまシニアボランティアポイントについては、利用者目線に立ち、アプリの統合を含めた検討を進めていただきたい。

#### 9 横浜ラポールについて

(1) 施設の改修内容について伺いたい。

(2) 利用手続きのオンライン化を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 障害のある方には移動に困難を抱える方もいるため、利用者の利便性の向上にしっかり取り組んでいただきたい。

8 長谷川 えつこ 委員（長谷川）

1 ヨコハマあんしん登録について

（1）利用に向けた支援について伺いたい。

（2）4月からの運用開始に向けた準備状況について伺いたい。

（要望）4月からの運用開始に向け、しっかりと準備を進めていただきたい。

2 身寄りのない高齢者等への支援について

（1）高齢者等終身サポート事業者によるトラブルを防ぐための取組について伺いたい。

（2）低所得の方でも高齢者等終身サポート事業を利用できるように、補助制度を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）高齢者の皆様の関心も非常に高いと考えているので、引き続き、しっかりと取り組んでいただきたい。

3 権利擁護事業について

（1）事業の取組状況と今後の方向性について伺いたい。

4 地域におけるICTの活用について

（1）高齢者見守り・安否確認機器補助事業の取組状況と評価について伺いたい。

（2）地域の担い手の負担を軽減し、持続可能な地域の見守りを実現するために、ICTの活用を積極的に進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。